

文化小劇場で紡ぎ出す

名古屋の歴史2015

第5回～第8回

講演時間14:00～16:00

名古屋市域の原始・古代から現代に至る歴史を編さんした「新修名古屋市史」の編集・執筆に携わった歴史の専門家による特別講演会を開催します。この機会に名古屋の歴史にふれて見ませんか。

料金など

入場無料

要チケット

- ▶ 11月11日(水)から各会場窓口はじめ文化振興事業団各施設窓口でチケットを発券します。
- ▶ チケットがなくなり次第発券を終了します。
- ▶ チケットの残数につきましては、各会場へお電話にてお問い合わせください。
- ▶ 開場は各講演会開始の30分前です。
- ▶ ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

第5回 2016年 2月2日(火)

江戸時代の名古屋の川^{さら}浚い -三都との比較-

会場 港文化小劇場 [350席] 052-654-8214
地下鉄名港線「港区役所」下車 1番出口より南へ徒歩3分

講師 林 順子 南山大学経済学部教授

河川や運河は、江戸時代の人々の生活や水運に活用され、その水行を維持するための「川浚い」の作業は、全国各地で行われていました。名古屋では、どのように川浚いが実施されたのでしょうか。三都と比較しながら名古屋の川浚いの特徴を考えます。

第6回 2016年 2月9日(火)

旧石器時代から縄文時代へ -愛知の場合-

会場 名東文化小劇場 [356席] 052-726-0008
地下鉄東山線「上社」下車 1番出口すぐ

講師 川合 剛 名古屋市博物館学芸課学芸員

約20,000年前をピークとする寒冷な気候は、約6,000年前をピークとする温暖な気候へと変わっていく。後期旧石器時代の多くと縄文時代の前半にあたる大きな画期のあるこの時期の文化変容を愛知県の事例を中心に説き明かす。

第7回 2016年 2月16日(火)

名古屋ターミナルの形成

会場 守山文化小劇場 [400席] 052-796-1821
名鉄瀬戸線「小幡」下車すぐ

講師 松永 直幸 鉄道史学会会員

2027年のリニア中央新幹線の開業に向けて再開発が進む名古屋駅一帯は、昭和10年代に現在の形に整備されたものである。今から80年近い昔に遡って、名古屋駅の改良工事とそれを契機とした三私鉄の名古屋駅前乗り入れについて明らかにしたい。

第8回 2016年 3月1日(火)

尾張藩の分限帳

会場 天白文化小劇場 [350席] 052-806-8060
地下鉄鶴舞線「原」下車 2番出口すぐ

講師 稲垣 知子 愛知文教大学人文学部准教授

分限帳とは、近世大名の家臣の禄高・役職・名前などを記した帳面です。これまで多くの市町村史で取り上げられ、紹介されてきましたが、それはなぜなのでしょう。本講演では尾張藩の分限帳をもとに、その理由をみていきます。

スタンプラリー

講演会全8回のスタンプを集めていただいた方には、最終回の天白文化小劇場(3月1日)にて、名古屋市文化振興事業団主催公演のチケットを進呈します。スタンプラリーの台紙は、第1回の西文化小劇場(12月15日)にて配布します。

- 主催 名古屋市市政資料館
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団
- 問合せ 各開催文化小劇場まで